



今年4月17日から4月25日にかけて実施された小学生すくすくウォッチについて、豊中市の児童のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

●目的

子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。

●対象学年・参加児童数

第5学年：豊中市 3,601人 大阪府 63,562人

第6学年：豊中市 3,588人 大阪府 64,578人

●実施内容

第5学年：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

第6学年：理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

●各教科・わくわく問題（教科横断型問題）の出題内容及びアンケート内容について

国語：言語能力・読解力の基礎となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題

文章に書かれている意味を正確に捉える力（リーディングスキル）をはかる問題

算数：関数・数と計算・図形に関する基礎的な知識技能、数学的な表現や意味理解、日常の事象を数学的に処理する技能を問う問題

理科：理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことや、その結果を数学的に表したり、分析したことを記述したりする問題

わくわく問題（教科横断型問題）

教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題

文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材としている。

問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

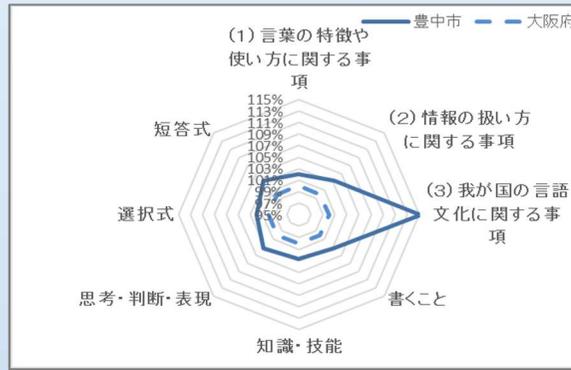
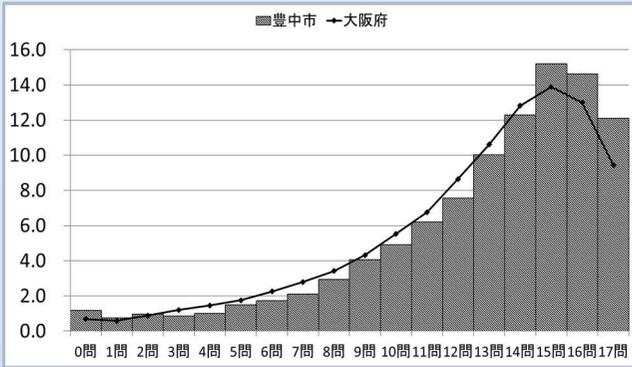
アンケート

非認知能力である「未来に向かう力」と「好奇心」の一人ひとりの状況がわかる様々な問い方に基づく項目等



第5学年
国語

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	75.0	76.5	↑
	(2) 情報の扱い方に関する事項	70.7	73.1	↑
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	51.3	59.2	↑
評価の観点	書くこと	64.9	66.9	↑
	知識・技能	73.4	75.3	↑
問題形式	思考・判断・表現	64.9	66.9	↑
	選択式	78.0	79.5	↑
	短答式	69.3	71.6	↑

- 全ての分類において大阪府の平均正答率（以下、正答率と表記）を上回っています。
- 故事成語の意味を正しく理解する問題（問5）や文と文の意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文で書く問題（問10）等については、正答率が高くなっています。
- 書かれた文の意味を正しく捉え適切な漢字を使って書く問題（問1）や文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分の正しく書く問題（問3（2））では、正答率が低くなっています。

課題があった問題1

■書かれた文の意味を正しく捉え適切な漢字を使って書く問題

解答類型	大阪府	豊中市
「健康への関心の高さに感心した」と解答しているもの【正答】	16.1%	22.7%
「健康」「関心」「高さ」「関心」のうち、1つ以上3つ以内、正しく解答しているもの【準正答】	69.4%	65.7%
上記以外の解答	5.9%	4.8%
無解答	8.6%	6.8%

※原則として「健康」「関心」「高さ」「関心」以外の部分の誤字、脱字、過剰、表記の変動などは不問

（正答）健康への関心の高さに感心した

① 次の文の——部分も、漢字に直せるものはすべて漢字を使って書き直しましょう。
風邪の手防止についての文たちの発表を聞いて、けんこうへのかんしんのたかきにかんじました。

〈解説〉
「学習指導要領解説 国語編」におおきく漢字の読み書きのことは、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間この時間をかけて、確実に「書き」使わせるようにしようとしている。また、漢字の読み書きについては、当該学年「記述」をわたる漢字の音読みや訓読みがわかるようにするよう工夫がなされている。

漢字を使ひやむ（かなだけだん読み）を感づかぬよう「日」の書く活動がこまめに積極的漢字を促し「書く意識」が大切だ。

課題があった問題3（2）

■文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分の正しく書く問題

解答類型	大阪府	豊中市
「すうことです」と同様の解答をしているもの【正答】	40.8%	39.8%
「すうことでした」と同様の解答をしているもの【正答】	0.0%	0.0%
「たくさんすうことです」など、文章にはない言葉を追加し文意の通る解答をしているもの【準正答】	0.1%	0.1%
上記3点以外の形で、「すう」の意味を含み、「方法は」につながる表現で解答しているが、文意が通らないもの	0.2%	0.1%
上記以外の解答	51.9%	51.8%
無解答	7.0%	8.2%

※漢字で表記しているかどうかは不問
※敬体、常体の使い分けは不問

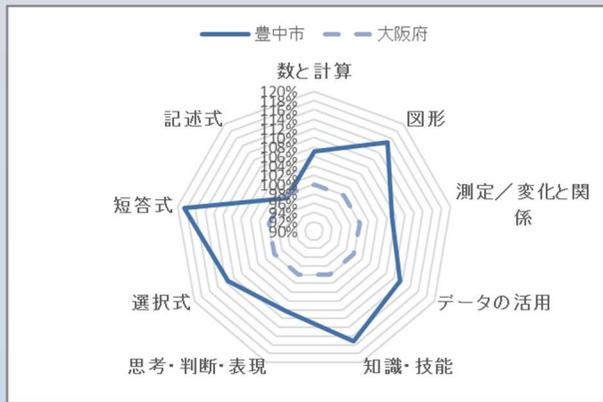
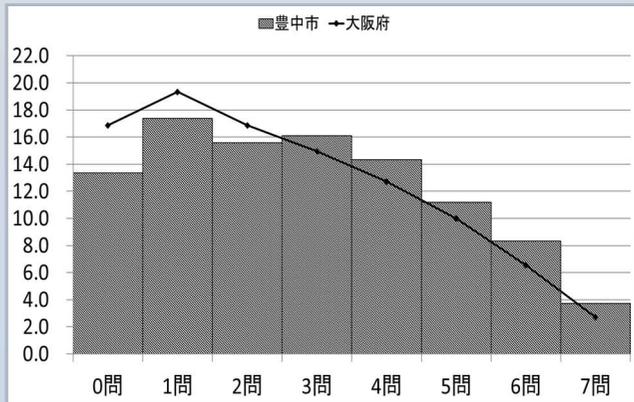
（正答例）たのびます

② 次の(1)と(2)の文は、——部分の言葉の使い方が間違っています。それぞれの文について、誤りを正しく書き直しましょう。
① 気持ちを落ちさせるためのよい方法は、大きく息をすいます。
② 気持ちを落ちさせるためのよい方法は、大きく息をすいます。

〈解説〉
無回答や準正答の児童は、主語と述語の関係を理解しそれぞれの関係に注意して文意が通るように書くことができていない可能性がみられます。
「かわからの学校」においては、文章を書いた後は、読み手に内容が正確に伝わっているか読み直すことが大切です。

第5学年
算数

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	数と計算	38.4	41.2	/
	図形	30.4	34.8	/
	測定/変化と関係	38.4	41.2	/
	データの活用	44.6	49.7	/
評価の観点	知識・技能	42.5	49.0	/
	思考・判断・表現	32.2	34.9	/
問題形式	選択式	44.6	49.7	/
	短答式	34.8	41.3	/
	記述式	31.8	31.6	\

- ほぼ全ての分類において大阪府の正答率を上回っていますが、大阪府・豊中市ともに全体を通して正答率が低い結果となっています。
- データを二つの観点から分類した表から読み取ることができる内容を、正しく理解する問題（問1（2））や伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□、△を用いてその関係を式で表す問題（問2（1））において、正答率が高くなっています。
- ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを理解し、図や式を用いて、ある二つの数量の関係を参考に別の二つの数量の関係を説明する問題（問2（3））において、正答率が低くなっています。

課題があった問題2（3）

■ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを理解し、図や式を用いて、ある二つの数量の関係を参考に別の二つの数量の関係を説明する問題

② 7月のある土曜日、ゆうさんとまいさんは、近くにあるプールに行きました。

③ 2人はプールから帰ろうと受付を通りかかった時に、料金の値上げについてのお知らせが、壁に貼られているのを見つけた。

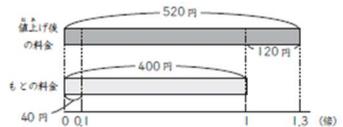
【もとの料金】	【値上げ後の料金】
大人： 400円 →	520円
子ども： 200円 →	240円

来月から、大人は120円、子どもは40円値上がりするんだね。どちらの方が値上がりしているんだろう。

値上げ後の料金ともとの料金の差で比べれば、大人の方が料金が上がっているように見えるね。

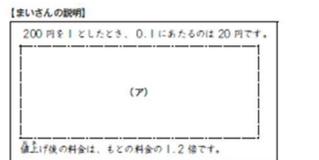
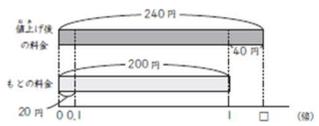
でも、もとの値段が違って来るとも言えないね。何倍かで比べてみればいいんじゃないかな。

大人の値上げ後の料金は、もとの料金の何倍になっているかな。テープ図を使って考えてみよう。



【ゆうさんの説明】
400円を1としたとき、0.1にあたるのは40円です。120円は、40円の3つ分になるので、0.3にあたります。そのため、520円は、400円を1としたときの1.3にあたります。値上げ後の料金は、もとの料金の1.3倍です。

わたしは子どもの料金について考えてみよう。
【まいさんの説明】にならって、値上げ後の料金が、もとの料金の何倍になっているかを説明できるかな。



【図】【ゆうさんの説明】を参考に、【まいさんの説明】の(ア)にあてはまる考え方を書き、説明を完成させよう。

（ 正答例 ）

（200円を1としたとき、0.1にあたるのは20円です。）

40円は、20円の2つ分になるので、0.2にあたります。

そのため、240円は、200円を1としたときの1.2にあたります。

（値上げ後の料金は、もとの料金の1.2倍です。）

解答類型	大阪府	豊中市
①、②を記述しているもの【正答】	35.8%	33.3%
①を記述しているもの【準正答】	2.0%	1.6%
②を記述しているもの	3.3%	4.0%
上記以外の解答	32.5%	30.0%
無解答	26.4%	31.0%

（ 正答の条件 ）

【説明】に次の①、②を書いている。

①40円が0.2にあたることを表す言葉や数

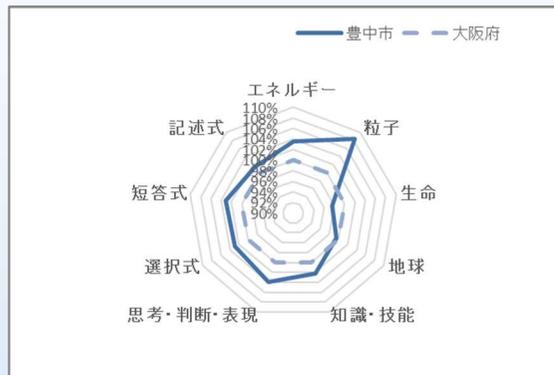
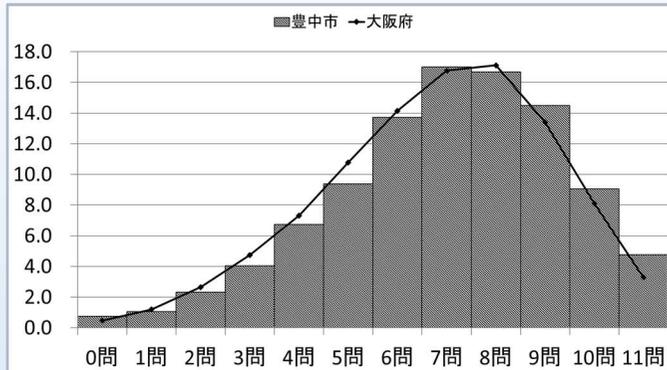
②240円が1.2にあたることを表す言葉や数

＜ 解説 ＞

正答した児童は、基準量を1とみたときに、比較量が何倍になるのかについて、数量の関係を明瞭、的確に表したり、それらから数量の関係を適切に読み取って判断したりすることができています。

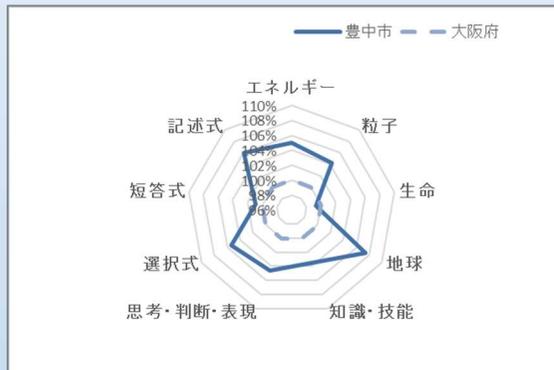
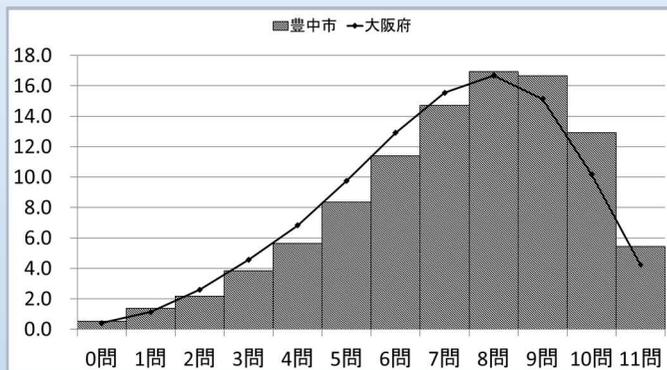
①や②のみ解答している児童は、【ゆうさんの説明】を参考にして解答するということが読み取れていない可能性があります。また、普段から基準量や比較量に着目できるように、問題場面を絵や図で表すとともに、言葉による説明をする機会を持つことが大切です。

第5学年 理科



分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	エネルギー	60.4	62.5	↗
	粒子	74.9	81.2	↗
	生命	86.4	84.4	↘
	地球	48.4	48.2	↘
評価の観点	知識・技能	67.3	68.8	↗
	思考・判断・表現	52.5	54.5	↗
問題形式	選択式	63.0	64.8	↗
	短答式	73.0	75.3	↗
	記述式	42.1	42.6	↗

第6学年 理科



分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	エネルギー	63.4	66.5	↗
	粒子	75.9	79.2	↗
	生命	82.0	81.5	↘
	地球	40.3	43.2	↗
評価の観点	知識・技能	69.9	72.4	↗
	思考・判断・表現	52.7	55.1	↗
問題形式	選択式	65.1	68.6	↗
	短答式	80.0	80.7	↗
	記述式	34.9	37.0	↗

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。



●理科は、第5学年と第6学年に、問1のみ同一問題が実施されました。

●第5学年においては

- ・生命や地球を柱とする領域において大阪府の正答率を下回っています。
- ・極がわからない棒磁石の磁極について、実験結果を整理して考える問題（問2（4））、方位磁針の性質から地球の磁場について考えて、書き表す問題（問2（6））において、大阪府と比べて正答率が高くなっています。
- ・水は加熱されなくても蒸発して水蒸気となり空気中に含まれていくことを理解し、実際の現象に当てはめて考えて、書き表す問題（問1（4））や、昆虫の育ち方の順序と名称について理解する問題（問1（5））において、正答率が低くなっています。

●第6学年においては

- ・生命を柱とする領域において大阪府の正答率を下回っています。
- ・電磁石の性質について理解し、電磁石が実際にどのように使われているか考える問題（問2（2））や、簡易検流計の正しい使い方について理解する問題（問2（3）①）において、正答率が高くなっています。
- ・日光の集め方についてあたたかさが変化することを理解する問題（問1（2））や、骨と骨のつなぎ目の名称について理解する問題（問2（1））において、正答率が低くなっています。

第5学年で課題があった問題1(4)

■水は加熱されなくても蒸発して水蒸気となり空気中に含まれていくことを理解し、実際の現象に当てはめて考えて、書き表す問題

① はんなさんたちは町内会のすくすくキャンプでわくわく島に行きます。すくすくキャンプでは、「ミッション1」から「ミッション3」に挑戦します。

(4) はんなさんたちは、なべにインスタントラーメンを入れようとしたときに、あることに気付きました。



問い なべから出た湯気が、なぜ消えて見えなくなったのでしょうか。理由を書きましょう。

(正答例)

湯気が蒸発して、水蒸気になったから。

(正答の条件)

次の①、②のどちらかを解答している。

- ①「蒸発した」という言葉を用いて説明している
- ②「水蒸気に変化した」ということを説明している

解答類型	大阪府	豊中市
①、②両方満たして解答しているもの【正答】	4.4%	2.9%
①を満たして解答しているもの【正答】	5.8%	7.0%
②を満たして解答しているもの【正答】	46.3%	43.3%
上記以外の解答	35.3%	37.2%
無解答	8.2%	9.5%

〈 解説 〉

「学習指導要領解説 理科編」第4学年の目標においては、学習過程において、自然の事物・現象から見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想するといった問題解決の力を育成することとしています。

正答した児童は、水が水面や地面などから蒸発し、水蒸気になることを理解するとともに、なべから出た湯気が、なぜ見えなくなったのかについて、日常生活と関連付けて考え、理由を書くことができています。

正答していない児童や無解答の児童については、既習内容や湿った地面が乾くなどの生活経験を基に、水は加熱されなくても蒸発して水蒸気となり空気中に含まれていくという自然の事物・現象について理解するとともに、実際の現象に当てはめて考え、理由等を書く機会を設けることが大切です。

第5学年で課題があった問題1(5)

■昆虫の育ち方の順序と名称について理解する問題

⑤ 食事が終わって、はんなさんたちは、「ミッション3」に挑戦します。

ミッション3は、「島のごん虫園かんを作ろう」です。今からわたすタブレット端末を使って作ってください。

あ、あそこを覗いたら何がはねたよ。

写真をとったよ。これは、トンサマバグだね。

わたしは、モンシロチョウのたまごの写真を撮ったよ。

そういえばごん虫は種類によって育ち方がちがうね。

バグのなかまは、たまご→ア→成虫の順に育つんだよね。

チョウのなかまは、たまご→イ→成虫の順に育つんだよ。

問い 上の「ア」、「イ」にあてはまる言葉を書きましょう。

(正答)

ア よう虫

(※漢字で表記しているかどうかは不問)

イ さなぎ

解答類型	大阪府	豊中市
ア、イを解答しているもの【正答】	68.7%	65.3%
アを解答し、イ以外の解答及び無解答のもの【準正答】	14.8%	15.5%
イを解答し、ア以外の解答及び無解答のもの【準正答】	2.9%	3.6%
上記以外の解答	10.7%	11.8%
無解答	3.0%	3.8%

〈 解説 〉

「学習指導要領解説 理科編」第3学年の「B(1)身の回りの生物」においては、身の回りの生物について探したり育てたりする中で、昆虫の成長の過程に着目して、複数の種類の昆虫の成長の過程を比較しながら、成長による体の変化を調べるとともに、これらの活動を通して昆虫の育ち方には、「卵→幼虫→さなぎ→成虫」というような一定の順序があることを捉えるようにすることとあります。

正答した児童は、昆虫の育ち方の順序と名称について理解することができているが、アやイのみを解答している児童やその他の解答をしている児童、無解答の児童は、昆虫の育ち方の順序と名称について理解することができていません。

そのため、昆虫の卵や幼虫を探し、それらを飼育し観察する活動を継続して行うなど、昆虫の育ち方についての理解の充実を図ることが大切です。

第6学年で課題があった問題1(2)

■日光の集め方であたかさが変化することを理解する問題

① はんなさんたちは町内会のすくすくキャンプでわくわく島に行きます。すくすくキャンプでは、「ミッション1」から「ミッション3」に挑戦します。

② はんなさんたちは、いよいよ、島に着きました。テントを立てた後、「ミッション2」について、スタッフから説明を受けています。

ミッション2は、「インスタントラーメンを作ろう」です。
インスタントラーメンと水は用意されていますが、マッチやガスライターはありません。うまく工夫してください。



インスタントラーメンを作るにはお湯が必要だよ。

けんじ

お湯をわかすには、火が必要だね。でも、マッチやガスライターがないのに、どうやって火をつけたいかな。



①前に、理科の授業で虫めがねを使い、日光を集めて紙をこがす実験をしたね。うまく紙に火をつけることができれば、たき火ができると思うよ。

けんじ

観察のために持ってきた虫めがねが使えらんじゃないかな。



問い 鏡部①について、はんなさんたちが、次の1から3のように、虫めがねを使って黒い紙に日光を当て続けると、1つだけこげて、けむりが出てきました。こげてけむりが出てきたのはどれですか。次の1から3までの中から1つ選びましょう。

1



2



3



(正答) 3

解答類型	大阪府	豊中市
①と解答しているもの	10.5%	11.3%
②と解答しているもの	5.5%	5.2%
③と解答しているもの【正答】	83.8%	83.0%
無解答	0.2%	0.4%

〈 解説 〉

「学習指導要領解説編 理科」においては、「日光は直進し、集めたり反射させたりできること」「ものに日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること」について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けることとしています。

正答した児童は、虫めがねで日光が集まったところを小さくすると明るさや暖かさが増し、黒い紙が焦げることもあるということを理解しています。

①、②と解答した児童については、虫めがねを使って日光を集める実験等を通して、光を当てたときの物の明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、物の明るさや暖かさの違いを調べる活動の充実を図ることが必要です。

第6学年で課題があった問題2(1)

■骨と骨のつなぎ目の名称について理解する問題

② るいさんたちは、工事現場で働く車を紹介する映像を見ている。

(1) るいさんたちは、出てきた車について話しています。

いろいろな車があるね。



るい

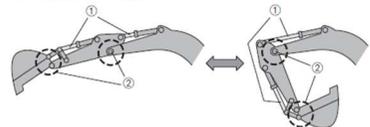
ショベルカーが土や石を運んでいるね。ショベルカーのうで部分で、人間のうでみたいだね。



ひなた



【うで部分を大きくした図】



るい

ショベルカーのうで部分は①のぼうがびちちみすることで、②の位置で曲がるみたいだね。



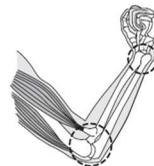
るい

ショベルカーのうで部分が曲がる②の部分は、わたしたちの体の手首やひじの みたいなものだね。



みずき

問い アには、下の人体の図の○で囲まれている、手首やひじのように曲げられる部分の名前が入ります。ほねとほねのつなぎ目にあたるこの部分を何といいますか。言葉で答えましょう。



(正答)

関節 (※漢字で表記しているかどうかは不問)

解答類型	大阪府	豊中市
「関節」と解答しているもの【正答】 ※漢字で表記しているかどうかは不問	76.7%	74.8%
かんせつ と読めるが、誤った漢字で書いているもの	2.9%	3.4%
上記以外の解答	15.8%	16.2%
無解答	4.6%	5.6%

〈 解説 〉

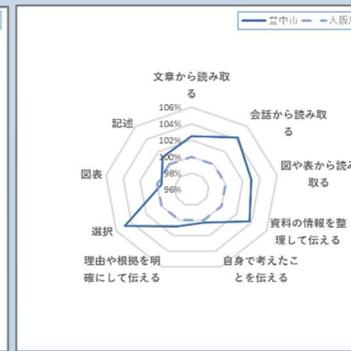
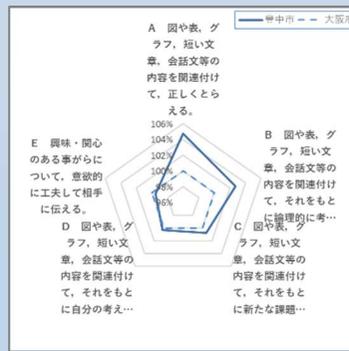
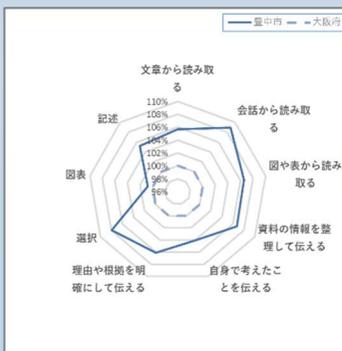
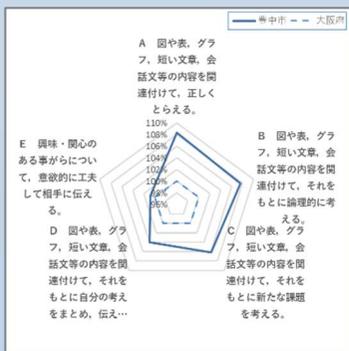
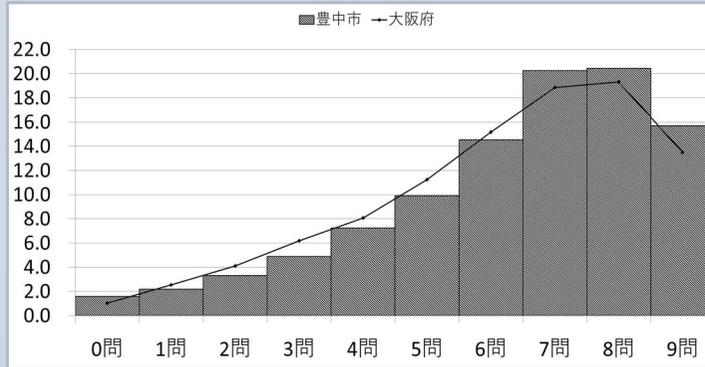
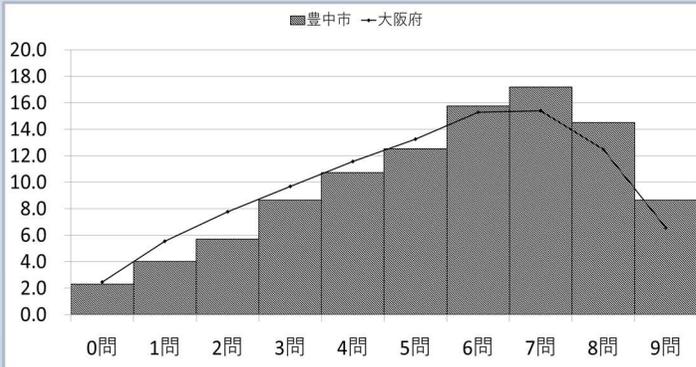
「学習指導要領解説編 理科」においては、人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係づけて自分の体を動かしたり他の動物が運動しているところを観察したりして、体の動きと骨や筋肉との関係を調べることとしています。

正答した児童は、体の各部には、手や足のように曲がる場所と曲がらない場所があり、曲がる場所を関節ということを理解しています。

誤った漢字で書いている児童については、正しい漢字で書くことやひらがなで書くようにするなど工夫が必要ですが、それ以外の解答をした児童については、体の各部にある曲がる場所を「関節」という名称を使用して説明するなど、人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きについて考えたり説明したりする活動の充実を図ることが必要です。

第5学年 わくわく問題

第6学年 わくわく問題



分類	区分	平均正答率 (%)					
		第5学年			第6学年		
		大阪府	豊中市	対府	大阪府	豊中市	対府
	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	60.5	65.5	↗	70.7	74.0	↗
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	50.4	54.3	↗	62.5	64.2	↗
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	62.8	66.7	↗	74.6	75.2	↗
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	68.8	71.6	↗	79.7	80.0	↗
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	80.7	81.3	↗	89.9	89.5	↘
問題を とらえる	文章から読み取る	61.1	64.5	↗	71.8	73.5	↗
	会話から読み取る	51.6	56.2	↗	62.1	64.7	↗
	図や表から読み取る	54.6	58.2	↗	65.7	67.7	↗
伝える	資料の情報を整理して伝える	56.5	60.3	↗	66.8	69.3	↗
	自身で考えたことを伝える	68.8	71.6	↗	79.7	80.0	↗
	理由や根拠を明確にして伝える	62.8	66.7	↗	74.6	75.2	↗
問題形式	選択	52.2	56.3	↗	61.9	64.9	↗
	図表	80.7	81.3	↗	89.9	89.5	↘
	記述	65.0	68.5	↗	76.9	77.8	↗

- わくわく問題は、第5学年と第6学年に同一問題で実施されました。
- どの分類においても、第6学年の正答率は、第5学年の正答率と比較して上回っています。
- 第5学年・第6学年ともに
 - ・自転車についての文章を読んで、視覚的なイメージをとらえる問題（問1（1））、ダンスを題材とし、物事の整理の仕方や、複数の資料を読み取り論理的に思考する問題（問2（1））において、正答率が高くなっています。
 - ・ダンスの評価で客観的な資料を分析し、具体的な踊りの工夫を説明する問題（問2（3））日本の伝統的食文化の一つである「すし」について複数の資料から読み取り、それに基づいた思考を問う問題（問3（2））において、大阪府の平均正答率を上回っていますが、豊中市としては正答率が低くなっています。



課題があった問題 2 (3)

■ダンスの評価で客観的な資料を分析し、具体的な踊りの工夫を説明する問題

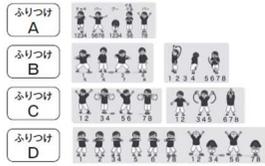
② みゆきさんたちのクラスは、来月行われる運動会に、クラスのみんなで作ったダンスを発表します。体育係のみゆきさんたちは、自分たちが見つけた「めっちゃSUKUSUKUダンス」をもとにダンスを考えることにしました。

「めっちゃSUKUSUKUダンス」とは

- みんなを曲で踊ることができず。
- 下の図のA～Dのようなふりつけがあり、これらを自由に組み合わせて踊ることができます。
- 自分たちで考えた、「オリジナルのふりつけ」を加えることもできます。
- 曲に合わせて、隊形移動を入れることもできます。

☆自分たちだけでなく、見ての人たちにも楽しんでもらえるようにダンスを工夫してみましょう！

—めっちゃSUKUSUKUダンス—



参考：大阪府「めっちゃWAKUWAKUダンス」



自分たちも楽しく体を動かして、見ての人たちにも楽しんでもらえるダンスにしたいな。

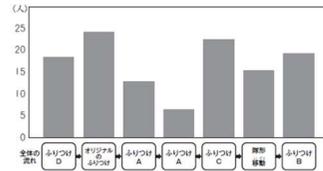
③ みゆきさんたちは、自分たちが作ったダンスを、見ている人にも楽しんでもらいたいと考えています。そこで、運動会場で発表する前に、2年次のクラスの友だちに見てもらい、意見をもらいました。

資料1は、見えた友だちの感想の一部を取り出したものです。資料2は、見えた友だちが楽しかったと感じた場面について、その結果をまとめたものです。

資料1 【見えた友だちの感想(一部)】

- ア 隊形移動の直前のふりつけは、みんなの息が合っていて、とてもよかったです。
- イ 同じダンスがくり返されるころは、正直に言うとう、少しつまらないような気がした。
- ウ みゆきさんたちが考えた「オリジナル」のふりつけがとてもよかったです。
- エ 隊形移動をしたあと、すぐに終わってしまったところが残念だった。

資料2 【見えた友だちが楽しかったと感じた場面】



④ 資料1と資料2をもとに、見ている人にも楽しんでもらうために、あなたなら、ダンスをどのように工夫すればよいか考えます。次の【条件】に合わせて書きましょう。

- 【条件】○もともとする内容を資料1のAからEまでの中から1つ以上選びましょう。
- 「資料からわかったこと」のらんに、資料1で選んだ内容と資料2から、わかったことを書きましょう。
- 「どのように工夫するか」のらんに、資料1と資料2をもとにして考えた工夫を具体的に書きましょう。

(正答の条件)

次の条件をすべて満たしている。

- ① 資料1から1つ以上選んでいる。
- ② 資料1で選んだ内容と資料2からわかる内容を書いている。
- ③ 具体的な工夫を条件②と関連付けて書いている。

(正答例)

【資料1】イ、エ

【資料からわかったこと】

楽しかったと感じた場面の資料を見ると、ふりつけAは2回連続でくり返されていて、隊形移動の後にはふりつけBしかない。

【どのように工夫するか】

隊形移動と、ふりつけAの2回あるところのどちらか1つをいれかえるといい。

解答類型	5年		6年	
	大阪府	豊中市	大阪府	豊中市
条件①について資料1から2つ以上選び、②、③を満たして解答しているもの【正答】	6.7%	7.6%	8.4%	8.2%
条件①について資料1つ以上を選び、②、③を満たして解答しているもの【正答】	16.0%	17.6%	25.7%	26.2%
条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの【準正答】	12.1%	11.8%	11.2%	10.0%
条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの【準正答】	19.8%	20.8%	23.1%	23.6%
条件①を満たし、条件②、③を満たさないで解答しているもの	30.8%	26.3%	21.4%	19.9%
上記以外の解答	7.0%	7.6%	6.9%	7.9%
無解答	7.6%	8.3%	3.3%	4.3%

< 解説 >

ダンスの評価で得た客観的な資料を分析し、具体的な踊りの工夫を説明する問題となっている。実際の生活の場面でも様々な情報を「関連付ける」「多面的に見る」「理由を付ける」「見通す」ことで、整理する場面を設けることが必要です。資料から読み取ったことを理由や根拠を明確にして、自分で考えたことを伝える機会を持つことが大切です。

課題があった問題 3 (2)

■日本の伝統的食文化の一つである「すし」について複数の資料から読み取り、それに基づいた思考を問う問題

③ あかねさんたちのクラスでは、食について調べる学習をしています。あかねさんたちのグループは「すし」について調べることになりました。

「すし」は昔からあるみたいだけど、今の「すし」の形と同じだったのかな。



② あかねさんたちは、「大阪すし」と「江戸すし」の資料を見つけた。



「大阪すし」は「江戸すし」とは、どこのものがあるみたいだけど、どんな違いがあるのかな。

資料2 【大阪すし】

「大阪すし」は大阪で昔から作られてきた「すし」で、様々な種類があるが、最も代表的なものは「箱すし」である。「箱すし」は、重の中に酢飯と具材を重ねて入れ、押し固めて作る。具材は、昔から、魚の他に卵や野菜などを使い、加熱したり、だしや酢、しょう油などで味をつけたりしていた。現在は、魚の他に、同じ調理法で作られている。酢飯は砂糖を多めに使い、甘めの味付けにすることが多い。



資料3 【江戸すし】

「江戸すし」は昔の東京で始まった「すし」で、酢飯の上に具材をのせて作った「にぎりすし」を中心とした「すし」のことです。具材は主に魚を用いる。現在は魚のものが多いが、昔はだし、酢、しょう油などで味をつけたり加熱したりしたものも多かった。酢飯はあっさりとした味にすることが多い。



表にまとめる2種類のすしの違いや共通点がわかりやすくなりそうだね。



④ 次の【表】は、あかねさんたちが資料2と資料3の内容をまとめたものです。

____部①と②の内容は【表】のAからカのどこに書くのでしょうか。それぞれ1つずつ選びましょう。また、【表】の③にはあかねさんの内容を文章で書きましょう。

【表】

	大阪すし	江戸すし
誕生した場所	大阪	東京
代表的なもの	箱すし	にぎりすし
作り方	ア	エ
具材	種類	イ
	③	オ
昔の調理法	<共通点>	
	③	
酢飯の特性	ウ	カ

(正答例)

- ① ア
- ② カ
- ③ 加熱したり、だしや酢、しょう油などで味をつけたりしたものが多かった。

(正答の条件)

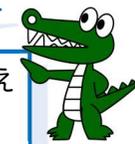
次の条件をすべて満たして解答している。

- ① ①でアを選択している
- ② ②でカを選択している
- ③ ③を適切に書いている

< 解説 >

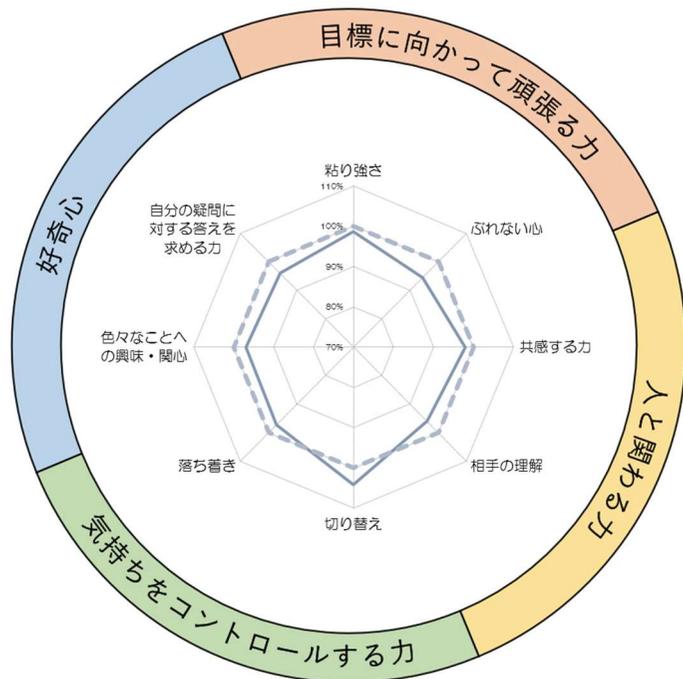
日本の伝統文化である「すし」を題材とし、種々の資料を読み取り、情報を整理して伝える問題となっています。普段の活動において、複数の資料から読み取ったことを「比較する」「分類する」「抽象化する」ことで表をまとめる活動や、複数の資料の情報から共通点を見つけて、短い言葉にまとめて伝える活動が必要です。

児童アンケート結果から

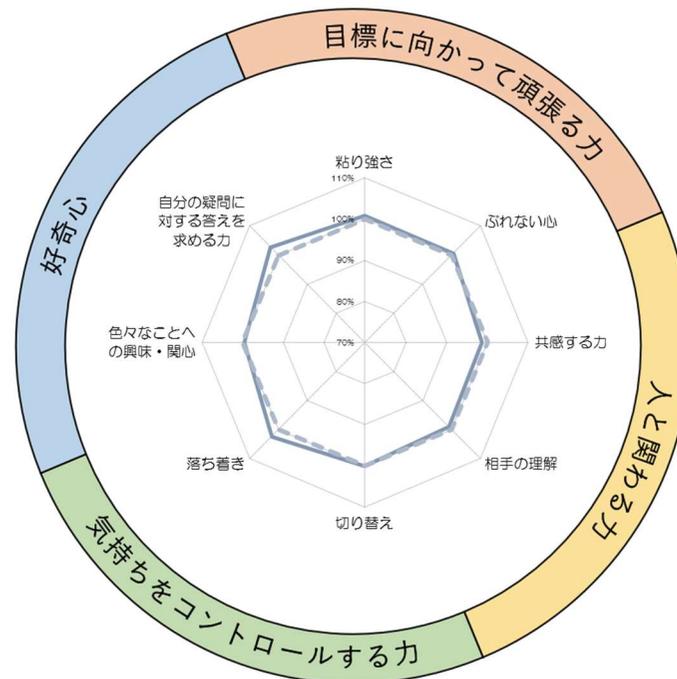


児童アンケート結果では、目標に向かって頑張る力・人と関わる力・気持ちをコントロールする力の「未来に向かう力」と「好奇心」の項目平均（当てはまる・どちらかといえ
ば当てはまるの合計）から、大阪府を基準とした豊中市の特徴をまとめています。

5年生



6年生



— 豊中市 - - - 大阪府

- 第5学年では、気持ちをコントロールする力の「切り替え」が、他の項目と比べて、高い結果となっています。一方で、目標に向かって頑張る力の「粘り強さ」や「ぶれない心」は、他の項目と比べて低い結果となっています。
- 第6学年では、好奇心の「自分の疑問に対する答えを求める力」が他の項目と比べて、やや高い結果となっています。一方で、人と関わる力の「共感する力」や「相手の理解」は、他の項目と比べて、やや低い結果となっています。

※このテスト及びアンケート結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

